

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 大阪府 大阪市

自治体名：大阪府 大阪市

担当課名：教育委員会 保健体育担当

電話番号：06-6208-8172

## 基本情報

|                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 面積                     | 225.3 km <sup>2</sup> |
| 人口                     | 279.4 万人              |
| 公立中学校数                 | 130 校                 |
| 公立中学校生徒数               | 51,202 人              |
| 部活動数                   | 1,648 部活              |
| 市区町村の協議会・検討会議等の設置状況    | 設置済                   |
| 市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況 | 策定に向けて<br>検討中         |

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

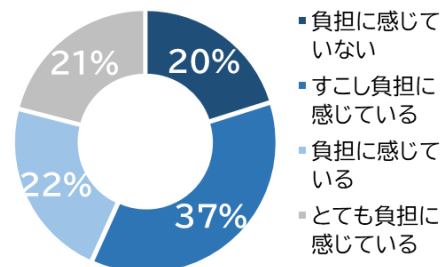
### 少子化の進展と生徒数の減少

- 在籍生徒数は、平成10年と比較し約11,500人減、部活動入部率は、運動部男子で約5%減、女子で約7%減
- 15歳未満の人口が、2045年には2020年の約6割となる区が複数存在
- 市内の地域によって状況は異なるが、生徒が将来にわたってスポーツ・文化芸術に触れる機会の確保が大きな課題

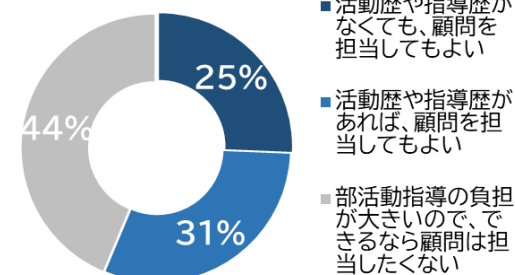
### 部活動改革と教員の働き方改革

- 2012年の本市立桜宮高等学校での体罰事案発生を踏まえ、「大阪市部活動指針～プレイヤーズファースト」を策定し、様々な部活動改革を実施
- 部活動指導員の活用では、580人分の予算措置を行って顧問教員の負担軽減に努めている
- 中学校教員の時間外勤務の月平均が43時間（R4.12時点）
- 部活動を負担と感じている教員の割合が8割におよぶ
- 顧問教員の負担軽減が引き続き大きな課題

現在の部活動指導に携わる負担感



部活動顧問を担当する意思について

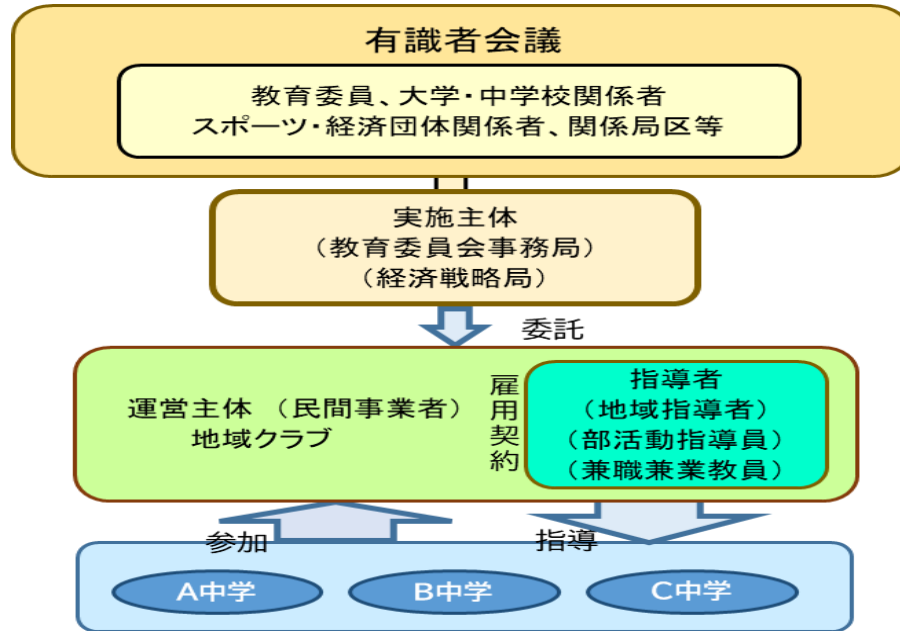


R4 本市部活動に関するアンケート調査  
教職員 762名回答

# 2.実証内容と成果

## 運営体制・役割

### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



### ●行政組織内での役割分担

| 部署名   | 関わり方・役割   |
|-------|---|
| 教育委員会 | 実証事業全体の総括<br>運営団体による事業実施の補助・支援<br>部活動指導員の配置（人材バンクの管理） |
| 首長部局  | スポーツチーム・スポーツ関係団体との連携、連絡調整等                            |

## 年間の事業スケジュール

| 月     | 計画事項  |
|-------|---|
| 5・6月  | 東淀川区 実施準備   |
| 7月    | 東淀川区 事業開始   |
| 8・9月  | 都島区・西区・東住吉区 実施準備<br>指導者への説明・研修（随時）                    |
| 10月   | 都島区・西区・東住吉区 事業開始                                      |
| 12月   | 部活動のあり方研究及び地域連携・地域移行に関する有識者会議①                        |
| R7.2月 | ・地域スポーツクラブ活動終了<br>・関係者へのアンケート調査実施                     |
| R7.3月 | ・部活動のあり方研究及び地域連携・地域移行に関する有識者会議②<br>・事業完了報告書、成果報告書等の作成 |

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

|          |  |            |        |
|----------|--|------------|--------|
| 対象中学校数   | 15 校   | 実施した地域クラブ数 | 42 クラブ |
| ケース別クラブ数 | A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）              |            | 7 クラブ  |
|          | B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等） |            | 35 クラブ |
| 全体の指導者数  | のべ100 人                                      | 全体の運営スタッフ数 | 5 人    |

#### ②各クラブに関すること

| 拠点                  | 種目  |     |    |       |
|---------------------|---|-----|----|-------|
| 東淀川区（全80回）<br>7種目   | 水泳① 水泳② 卓球 バドミントン ボッチャ ダンス ギター                          |     |    |       |
| 西区（全40回）<br>10種目    | 卓球 バレー 陸上 ダンス① ダンス② 水泳 プログラミング 漫画・イラスト eスポーツ 書道         |     |    |       |
| 東住吉区（全40回）<br>9種目   | サッカー バasketボール 女子バレー バドミントン 卓球 柔道 少林寺拳法 ダンス 漫画・イラスト     |     |    |       |
| 都島区（全40回）<br>12種目   | 卓球 柔道 陸上 水泳 硬式テニス ダンス ボート ボッチャ プログラミング 書道 eスポーツ 漫画・イラスト |     |    |       |
| 都島区（全10回）<br>【特別企画】 | みんなの水泳教室  | ボート | 柔道 | 男子バレー |

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 都島区【特別企画】みんなの水泳教室 地域施設にて1回実施
- 都島区【特別企画】ボート・柔道 高等学校と連携した取組
- 都島区 ボッチャ 近隣の支援学校と連携した取組

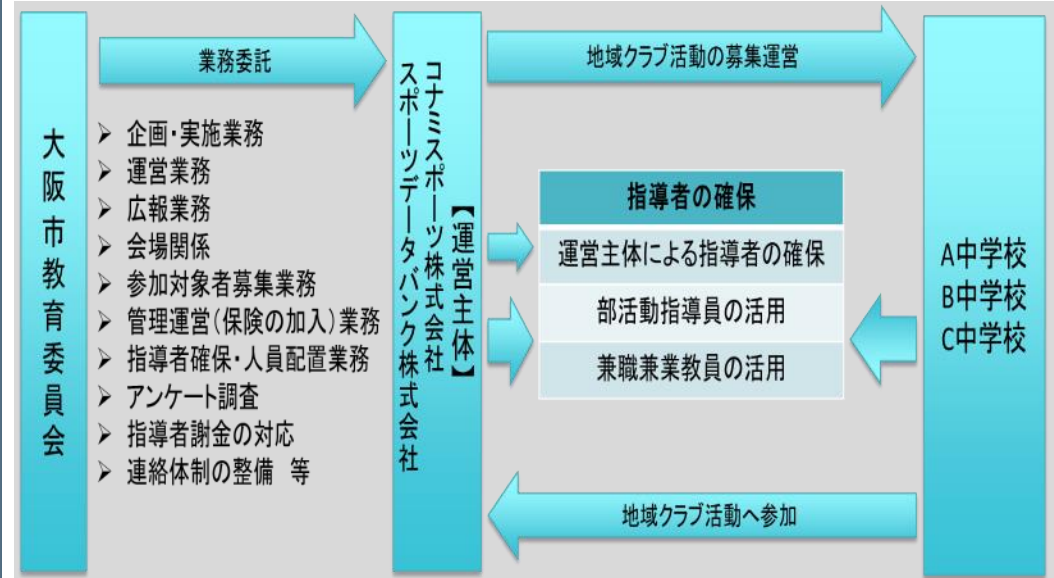
## 2.実証内容と成果

### 主な取組例

#### ●地域クラブ 活動概要

| 種目        | 水泳   | 種目        | バレーボール   |
|-----------|--|-----------|--|
| 運営団体名     | コナミスポーツクラブ株式会社   | 運営団体名     | スポーツデータバンク株式会社   |
| 期間と日数     | 10月26日<br>～2月1日<br>全18回  | 期間と日数     | 12月1日<br>～1月12日<br>全4回   |
| 指導者の主な属性  | 運営団体<br>スタッフ   | 指導者の主な属性  | 部活動指導員<br>兼職兼業教員   |
| 活動場所      | 運営団体施設   | 活動場所      | 学校   |
| 主な移動手段    | 徒歩・自転車   | 主な移動手段    | 徒歩・自転車   |
| 1人あたりの参加費 | 無料   | 1人あたりの参加費 | 無料   |
| 1人あたりの保険料 | 無料（事業者負担）<br>スポーツ安全保険<br>生徒1人あたり<br>800円/年<br><br>指導者1人あたり<br>488円/年 | 1人あたりの保険料 | 無料（事業者負担）<br>スポーツ安全保険<br>生徒1人あたり<br>800円/年<br><br>指導者1人あたり<br>1,200円/年 |

#### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



#### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括責任者  
役割：本市・学校との連絡調整等、本業務を統括する役割
- 主任指導者 1名  
役割：当日の指導内容の計画・指示等、主として活動の指導を行う
- 副主任指導者 1名  
役割：主任指導者の補助として活動の指導を行う

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

- 複数の中学校単位で4つの拠点により取組みを行ったが、民間事業者、関係団体、中学校との連絡調整等を担うコーディネーターを配置せず、民間事業者および教育委員会事務局が、その役割を担うこととした。
- 民間事業者においては、各拠点の統括責任者を務め、教育委員会事務局や学校の管理職等と連絡調整、活動日の運営管理を行った
- 活動における安全管理、緊急時の対応等について、活動中の生徒同士のトラブルや事故対応を含む管理責任や賠償責任について責任主体を契約上明確に規定し、共通理解を図った
- 生徒や保護者へは、募集リーフレットを対象校の生徒全員に配布した

##### 特に工夫した事項

- 民間事業者と週に1回打合せの時間を設定し、情報共有・進捗管理を行い、円滑な実施となるよう努めた
- 募集リーフレットに記載の二次元コードから専用サイトやアプリを登録し、活動実施日当日の詳細情報や当日の出欠確認もアプリ上で管理し、生徒や保護者の端末から確認できるようにした

##### 取組の成果

対象校教員アンケートより

- 活動日時や場所の決定および、指導者の確保について、日程調整や既存の部活動との兼ね合いが難しかった
- 実施確定までに時間がかかり、生徒保護者への周知が実施日の直前となることもあった
- 兼職兼業で指導者となる際の説明等が不十分だった
- 事前準備や鍵の管理、当日の運営など、関係者間で円滑に実施できた
- 民間事業者と連携をとる中で学校のニーズにも答えてくれた

##### 今後の課題と対応方針

- 兼職兼業により地域クラブ指導者となる教員への丁寧な説明および、意見交換の場を充実させ、コーディネーターとしての役割を果たせるようにする
- 民間事業者、学校その他の関係者による協議会等により、課題のフィードバックを迅速に行い、改善につなげる
- 生徒や保護者への周知を一層進めるため、生徒・保護者への案内方法の工夫改善に努める

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

## イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

##### 取組事項

- 指導者については、各種目2名体制とし、民間事業者による社員や地域人材の配置か、本市の部活動指導員や地域クラブでの指導を希望する本市の兼職兼業教員も応募できることとした。
- 本市部活動指導員人材バンク登録者からも地域クラブ指導者としての協力を促した。
- 指導者には、事前に民間事業者において、地域クラブ指導に必要なオンライン研修を実施したうえで指導にあたることとするともに、指導に係る質の確保を行った。

##### 人材バンクの人数

987名

##### 人材バンクの年齢構成

|       |      |
|-------|------|
| 10代   | 59名  |
| 20代   | 442名 |
| 30代   | 109名 |
| 40代   | 64名  |
| 50代   | 64名  |
| 60代以上 | 249名 |

##### 種目

- ・バレーボール
- ・サッカー
- ・バスケットボール
- ・野球
- ・陸上
- ・バドミントン
- ・吹奏楽
- ・茶道 など

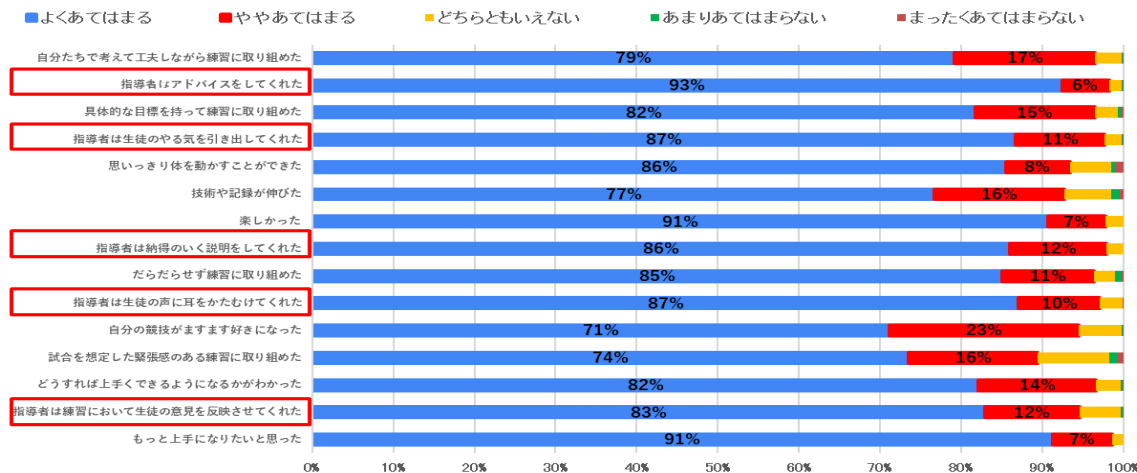
##### 登録者属性

|    |      |
|----|------|
| 一般 | 713人 |
| 学生 | 274人 |

##### 資格有無

資格要件について、児童生徒への指導実績は必要であるが、指導者資格等の有無は問わない

##### 取組の成果



#### ●指導者に関して

「アドバイスをしてくれた」  
 「生徒のやる気を引き出してくれた」  
 「納得のいく説明をしてくれた」  
 「生徒の声に耳を傾けてくれた」  
 「練習において生徒の意見を反映させてくれた」  
 以上5項目すべてにおいて「よくあてはまる」という回答が80%以上であった。生徒の要望・課題を的確に理解し、適切な指導が行えていたことが伺える

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

#### 指導者研修の内容例

##### 基礎研修・専門種目研修

| 研修    | 主な内容  | 回数               |
|-------|---|------------------|
| 事前研修① | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業背景と趣旨、目的の理解</li> <li>・指導に入る前の準備（指導者の役割、生徒との接し方等）</li> <li>・指導における当日の流れ</li> <li>・活動以外の対応（学校との分担、連携）</li> <li>・活動における危機管理対応（体罰等の防止・安全管理・アレルギー対応等）</li> </ul> | 60分程度<br>(オンライン) |

##### その他研修（自然災害への対応・コンプライアンス・ハラスメント等）

| 研修    | 主な内容                        | 方法                                   | <b>e-Learning受講<br/>(オンデマンド)</b><br><br><b>確認テスト</b><br><br><b>認証・情報開示</b> |
|-------|-----------------------------|--------------------------------------|---|
| 事前研修② | 自然災害への対応（e-Learning）        | e-Learning<br>(オンデマンド)<br>30～40分/各項目 |   |
|       | 救急救命・救護（e-Learning）         |                                      |   |
|       | 防犯（e-Learning）              |                                      |   |
|       | コンプライアンス・ハラスメント（e-Learning） |                                      |   |
|       | メンタルヘルスケア（e-Learning）       |                                      |   |
|       | 個人情報保護（e-Learning）          |                                      |   |

#### 受講者の声

- 確認テストもあり、時間を要した（兼職兼業教員）
- 指導者研修のオンデマンドでの受講に際し、丁寧な説明がほしい（兼職兼業教員）

#### 今後の課題と対応方針

- 兼職兼業教員や部活動指導員に対する研修との整合性の確保
- 民間事業者より地域クラブ指導者として協力いただける方へ、本事業について丁寧に説明し理解促進を図る

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
**エ：面的・広域的な取組**

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

##### 取組事項

学校単独の部活動の地域移行ではなく、4つの拠点において3～5中学校が合同で活動する形式を取り、活動場所を確保することや、指導者として活動する部活動指導員において、平日の部活動指導員としての配置校以外での活動を可能とし、面的・広域的な取組となるようにした

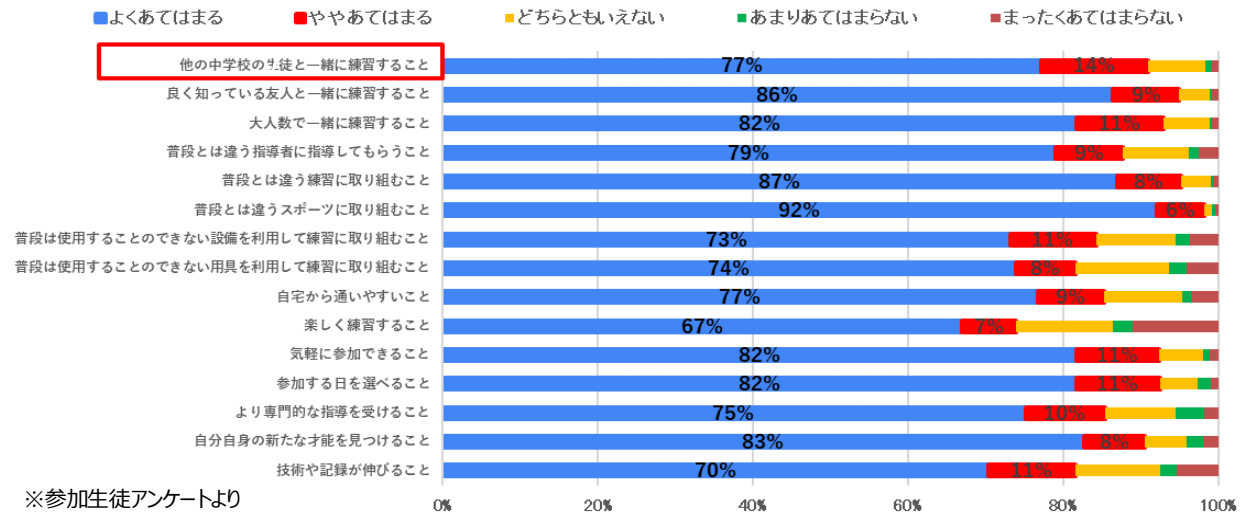
##### 特徴

都島区の特別企画として実施したSAKURAスポーツクラブでは、対象となる区を近隣区に拡充し、北区・福島区・旭区の中学校に在籍する生徒も参加可能とした。

また、中高連携企画として、高校生とともに活動を実施する種目も設定した。

東住吉区では、対象中学校の校下小学校6年生も参加対象者に含めた

##### 取組の成果



- 参加生徒対象のアンケート結果より、地域クラブ活動に期待していることの中で、「他校生との練習」について、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計が75%以上であり、参加生徒が「他校生との練習」について肯定的に回答した結果となった

##### 移手段

生徒の活動場所までの移手段は、徒歩・自転車、公共交通機関（自費）を利用しての参加

##### 今後の課題と対応方針

- 対象校以外の施設（民間施設、大学など）の活用の推進
- 部活動指導員の活用とあわせた合同部活動・拠点校方式を推進し、小規模校などニーズの高いのところから、学校単位の部活動をグループ単位に移行し、地域連携を並行して推進する

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実

##### 取組事項

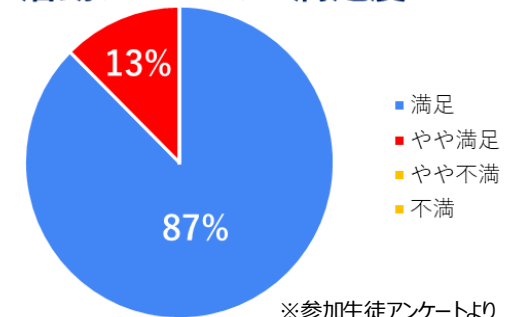
都島区の特別企画SAKURAスポーツクラブにおいて、障がいの有無や水泳の得手不得手に関係なく、元オリンピックの指導のもと誰もが楽しめることをコンセプトにした「みんなの水泳教室」を実施した

都島区の特別企画については、近隣区である北区・福島区・旭区の市立中学校に在籍する生徒も参加対象とし、広域区での応募のもと実施した

##### 活動の詳細

|                    |  |      |    |       |    |
|--------------------|--|------|----|-------|----|
| 参加人数               | 37人  | 指導者数 | 2人 | サポート役 | 8人 |
| 属性                 | 障がいのある生徒が活動できる環境づくりと健常者と共に参加できる活動の実施   |      |    |       |    |
| 具体的な内容             | <ul style="list-style-type: none"> <li>参加対象校の特別支援学級に在籍する生徒へ積極的に周知し、全介助が必要な生徒等も参加。参加生徒の4分の1以上は水泳部以外の生徒が参加</li> <li>今年度は、地域民間施設を活用して実施</li> </ul>  |      |    |       |    |
| 工夫した点              | <ul style="list-style-type: none"> <li>全介助が必要な生徒1人につき、指導者2人体制とし、配慮が必要な生徒については、参加生徒保護者への聞き取りを丁寧に行った</li> <li>救急搬送時のルート確認等を実施し、緊急時の対応に努めた</li> <li>教員免許状を取得している事務局スタッフを8名程度配置した</li> </ul> |      |    |       |    |
| 取組の成果および今後の課題と対応方針 | <ul style="list-style-type: none"> <li>参加した生徒・保護者からも好評価を得たことから、引き続きすべての参加生徒が楽しめる環境づくりに努める</li> <li>今後本取組の継続実施に向け、スタッフの確保及び、施設資料料、指導者の報酬等について課題が残る</li> <li>バリアフリーの施設の確保も課題である</li> </ul> |      |    |       |    |

\*みんなの水泳教室活動についての満足度



## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

##### 取組事項

参加生徒保護者を対象にアンケート調査を実施したところ、134人の保護者から回答があった

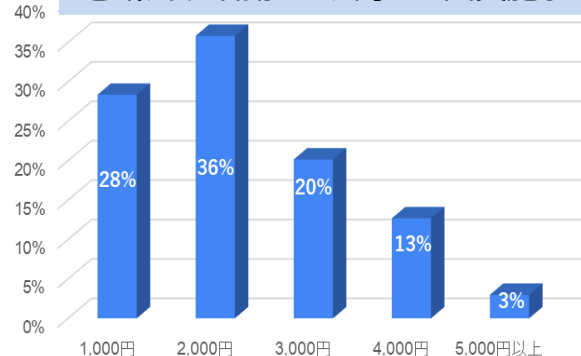
アンケート調査の質問項目に、「今回参加されたような休日の地域移行のモデル事業が会費制（受益者負担）となった場合、いくらであればお子さまを参加させてもよいと思いますか」の質問を実施

今年度の地域クラブモデル事業の指導者の方を対象にアンケート調査を実施したところ、41人の地域クラブ指導者から回答があった

アンケート調査の質問項目に、「指導者の報酬は1時間あたりどのくらいの金額が妥当だと思いますか」の質問を実施

##### 取組の成果

地域クラブ活動を1カ月に4回実施した際の受益者負担について



参加生徒保護者アンケートより

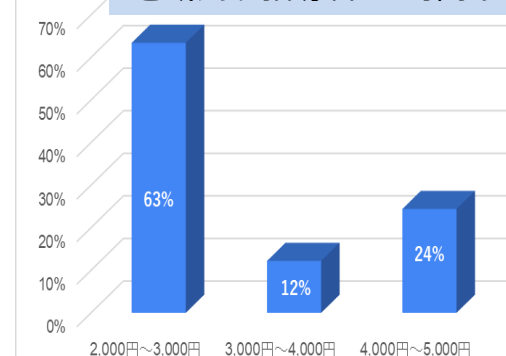
①2,000円が36%

②1,000円が28%

と回答

○3,000円以内の合計が84%という結果となった

地域クラブ指導者の1時間あたりの報酬について



地域クラブ指導者アンケートより

1時間あたり

①2,000～3,000円が63%

②4,000～5,000円が24%

と回答

##### 今後の課題と対応方針

今年度のモデル事業についても、保険が委託事業とパッケージになっており、別で加入する必要がなく参加生徒個人に費用負担がなかった

来年度のモデル事業も同様の形で実施予定だが、将来にわたり子どもたちの持続可能なスポーツ・文化芸術活動に触れる機会の確保に向け、経費負担のあり方についての検証が必要である

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

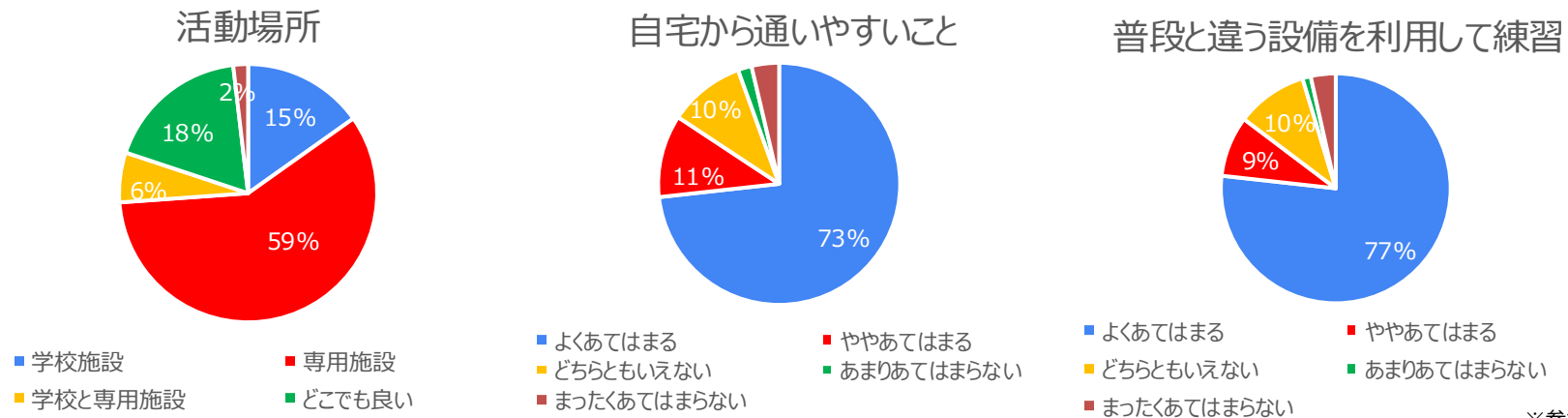
##### 取組事項

拠点中学校を運営主体と訪問し、事業への協力及び施設の利用について調整を行った。また、活動場所となる中学校の先生方に負担とならないよう、鍵等の受け渡しや管理について調整を行った

地域の民間施設も含め、活動場所として活用できないか運営主体が中心となり調整を行った  
学校会場の鍵の受け渡しについてキーボックスを設置した

##### 取組の成果

地域クラブの活動場所として「専用施設が良い」という生徒が最も多く59%、次いで「どこでも良い」と答えた生徒が18%、「学校施設が良い」と答えた生徒が15%。また、「自宅から通いやすいこと」が73%と高く、今後も通い慣れた学校施設を中心として活動するとともに、「普段と違う設備を利用して練習すること」の割合も77%と高いため、拠点となる区の近隣区も含め活用可能な施設の発掘が必要である



##### 今後の課題と対応方針

- 学校でのモデル事業実施にあたり、鍵の受け渡しやセキュリティ面での対応など対象となる中学校に負担をかけないよう引き続き検証を重ねる
- 学校部活動が行われている中でのモデル事業となるため、対象校に対し丁寧な説明のもと、事業趣旨を理解いただき活動場所の確保に努める

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

##### ➤実施回数

令和6年度は、各拠点において実施回数80回の予定であったが、選定された事業者の辞退により東淀川区以外の拠点については2学期からの開始となり、その3拠点においては各拠点40回の実施となった

##### ➤内容の充実

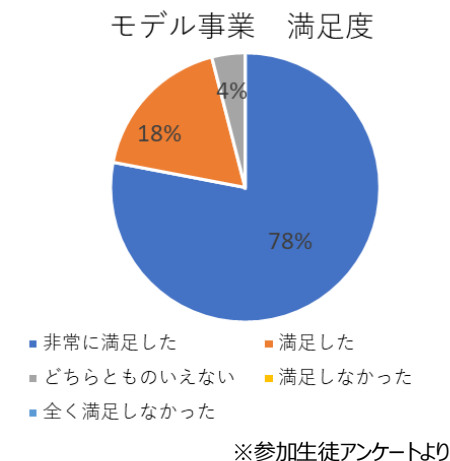
誰もが参加できる種目として、「みんなの水泳教室」「ボッチャ」「クラシックギター」、コース別の「水泳」等を企画し、また、中之島中の施設を活用し「プログラミング」「e-スポーツ」も実施することができた  
民間施設を活用して実施することもできた

##### ➤学校との連携

昨年度よりも実施回数が、4拠点の合計で80回程度増えており、学校および指導者との連携・調整に課題が残った。兼職兼業でモデル事業指導者となる教員や部活動指導員に対し、モデル事業の趣旨等、丁寧な説明が必要である

#### ●成果の評価

モデル事業参加生徒アンケート結果からは、「非常に満足した」「満足した」の合計の割合が96%と非常に満足度の高い取組となっている。一方で、モデル事業全日程終了後に対象校全生徒対象に実施したアンケート結果では、参加しなかった生徒の38%が「モデル事業の活動を知らなかった」と回答している。来年度の取組に向け、内容の充実とともに、生徒・保護者への理解促進に努めなければならない



#### ●今後に向けて

##### ■生徒にとって…

- ✓ ニーズにマッチしたより望ましいスポーツ・文化芸術環境の追求  
・活動頻度の選択 ・種目の選択 ・習熟レベルの選択

##### ■教員にとって…

- ✓ 少子化の進展等の将来を見据えたスポーツ・文化芸術環境の確保  
・拠点による活動の実施 ・他校生や多様な世代との交流
- ✓ 部活動の指導に負担を感じている教員の救済・負担軽減
- ✓ 部活動の指導に熱意を持つ教員の「やりがい」への配慮

##### ■保護者・地域にとって…

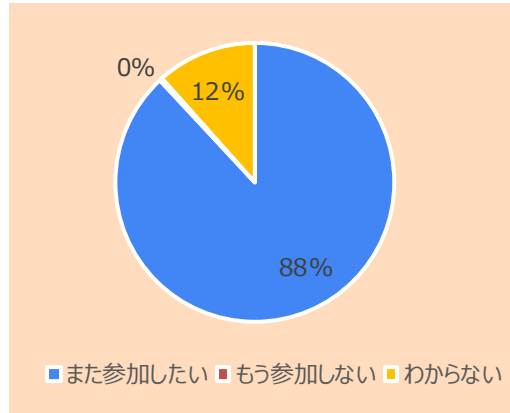
- ✓ 「地域移行」≠「今ある部活動を地域にそのまま可能な限りシフト」ではなく、多様な世代が参加する地域のスポーツ環境の充実

## アンケート結果・参加者の声

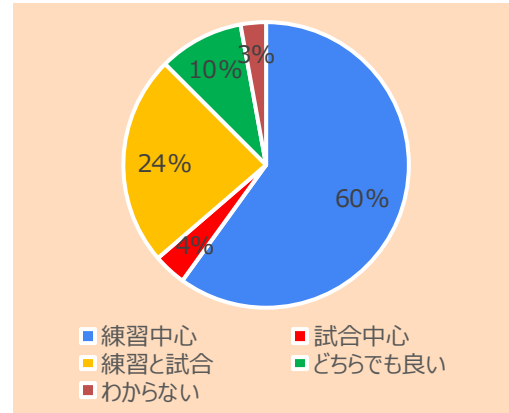
### ●アンケート結果

※参加生徒アンケートより

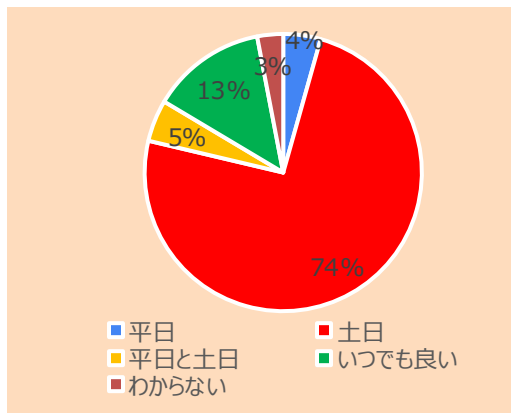
Q.今後も地域クラブに参加したいか



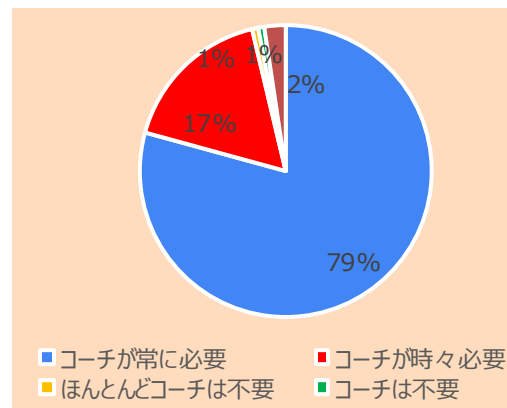
Q.地域クラブでどのような活動がしたいか



Q.地域クラブでいつ活動がしたいか



Q.地域クラブにコーチ（指導者）ほどの程度の頻度で必要か



### ●参加者の声

※参加生徒アンケートより

- ・いつもと違う練習をすることによって深く考えることができた
- ・たくさんほめてくださって、とても嬉しかった。今後も活動を楽しみたいと思った
- ・他の学校と交流しながら体験できたのがとてもよかったです
- ・知らない人とのクラブ活動で少し緊張していたけど声をするとコミュニケーションがとれてみんなと楽しくクラブ活動ができてよかったです

### ●指導者の声

※指導者アンケートより

- ・地域クラブを放課後や土日の居場所づくりとして提供できれば面白いと思った
- ・長期的なスパンで実施できれば発表会の実施や目標の設定などができ、リピーターが増えると感じた
- ・集合してから活動をスタートするまでの出欠の確認や連絡が難しい
- ・運営事業者との調整が負担となった

## 2.実証内容と成果③

### 広報資料

#### 【生徒・保護者へのチラシ】



**新しい地域クラブ**

「地域クラブ」とは…

8月のご案内

●有資格者や、専門性の高い指導者による指導が受けられます  
●初心者～上級者等のレベル別クラスのため、自分のペースで楽しむことができます  
●様々なスポーツ・文化芸術活動を自由に選択し、何回でも参加できます

7月～1月末 対 東淀川区 無料  
7月～1月末 対 旭光中・井高野中 参加費  
7月～1月末 対 大釈中の生徒 ※保護料あり

●対象校施設（東淀川区、旭光中、井高野中、大釈中）  
および、コナミスポーツクラブ 上原店、コナミスポーツクラブ 守口店

**ダンス**  
18時～20時 18時～20時 18時～20時

**水泳**  
18時～20時 18時～20時 18時～20時

**概要**  
対象年齢：小学生～中学生、高校生、大学生、社会人、大人  
※小学生は保護者同伴で参加していただきます。  
※中学生は保護者同伴で参加していただきます。  
※高校生、大学生、社会人は保護者同伴で参加していただきます。  
※保護者同伴とは、保護者が保護者のみで参加していただくことです。  
※保護者同伴とは、保護者が保護者のみで参加していただくことです。  
※保護者同伴とは、保護者が保護者のみで参加していただくことです。

**2023 あたらしい地域クラブ**  
令和6年度部活動の地域移行モデル事業  
10.19～12.14

**OVERVIEW**

対象 堺区、北区、福泉区、区域内に在住する生徒のうち希望する生徒  
※実施プログラムについては、裏面記載

参加費・会費 無料（保険はスポーツ安全保険に加入いたします）

定員 各プログラム20～30名程度

会場 南門指導者 池

申し込みはこちら

申込締切 / 各プログラム実施前日10時まで  
※応募希望の学年を必ずご記入ください。学年が変更になった場合は、ご連絡をお願いします。

応募方法 / QRコードをスクリーンショットし、Web申込フォームよりご応募ください

主催 大阪市教育委員会 運営 スポーツデータバンク株式会社

**令和6年度部活動の地域移行モデル事業 あたらしい地域クラブ**

SAKURAスポーツクラブ内容

| プログラム(種別)        | 開催日時   | 開催場所       | 備考            |
|------------------|--|------------|---------------|
| 1 柔道             | 9:00～<br>10/26(土)<br>10/26(土)<br>12/14(土)                        | 桜宮高等学校 柔道場 |               |
| 2 男子バレーボール       | 9:30～<br>11/24(日)  | 桜宮高等学校 体育館 |               |
| 3 ボート            | 9:30～<br>11/10(日)<br>11/16(土)<br>11/29(土)<br>12/7(土)<br>12/14(土) | 桜宮共同艇庫     |               |
| 4 みんなの水泳教室(千歳ずぶ) | 15:00～<br>(1時間程度)  | 11/4(日)    | コナミスポーツクラブ 泉橋 |

アクセス  
桜宮高等学校 〒594-0001 大阪市都島区毛馬6丁目22-29  
桜宮共同艇庫 〒594-0027 大阪市都島区中町1丁目10-27

プログラムの詳細については、専用Webサイトに掲載いたします  
<https://sites.google.com/view/osaaka-chiikiclub-sdb/home>

お申し込み注意事項について  
01 応募者多数の場合は抽選となります。  
02 申込回数に制限はありません。各プログラムは1回から参加いただくことが可能です。  
03 持ち物や服装はプログラムによって異なります。詳しくは専用Webサイトに記載いたします。  
04 性別の指定は従来通り、公共の場での参加となります。  
05 参加費は別途ご負担いただく場合があります。ご参加の申し込みの際に詳細を記載いたします。  
06 保護者の方へご挨拶いたします。  
07 保護者の方へご挨拶いたします。  
※詳細については、ご参加の前にお電話でご確認ください。詳しくはWebサイトに記載いたします。

大阪市における部活動地域移行モデル事業について

お問い合わせはこちら

生徒・保護者へのチラシについては、各拠点年間5回以上配付し、2回目以降は取組の様子などを掲載することで、部活動の地域移行モデル事業の理解促進に努めた。出欠連絡アプリ「ミマモルメ」により、メールで保護者への配信も行った

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）



## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）



## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）



### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年

有識者会議設置  
検討開始

令和5年～

地域移行モデル事業開始  
学校現場との調整

令和8年～

調査・検討・試行

令和11年

中間評価

#### ステークホルダー

学校、市教委、区役所、経済戦略局、校長会、中体連、中文連、競技団体、スポーツ協会

#### 経過

令和4年度より「部活動の在り方研究及び地域連携・地域移行に関する有識者会議」を設置し、今後の部活動のあり方について検証

令和5年度より、部活動の地域移行モデル事業の運営を民間事業者へ委託し市内4拠点において実証研究を開始

#### 実施内容

令和5年度は市内4拠点において各拠点7～8種目を3回ずつ実施し、地域クラブ活動へ参加する試験的な取組を開始した

令和6年度は同じ4拠点において実施回数を拡充し、4拠点合計年間210回実施した。内容の充実に向け、誰もが参加できるプログラムの実施や、令和5年度より文化系種目の実施回数を増やした

#### 実施にあたって生じた課題

学校部活動が行われている中での地域移行モデル事業において、参加生徒の確保・活動場所（学校）の確保が課題となっている。また、指導者の日程と活動場所の確保に調整が難航することもあり、学校会場以外での活動場所の確保も検討課題である

#### 今後の展開

令和7年度は地域移行モデル事業のを1学期からスタートさせ、年間通しての活動を実施する。4拠点合計年間320回実施する

また、令和7年度は4拠点の近隣区および、近隣校も対象とする種目を実施し、地域移行モデル事業を広域に展開していく

これまで学校部活動が担ってきた役割は大きく、生徒・保護者・教職員・地域にとってよりスムーズな移行が求められる。特に移行期間にあたる生徒たちにとって活動機会がしっかりと確保されるよう、国の議論を注視しながら、今後の部活動のあり方について検証を重ねていく

# 3. 今後の方向性

